令和６年度

# 事　業　報　告　書

学校法人　三室戸学園

目　　次

Ⅰ　法人の概要 …… 1

Ⅱ　事業の概要 …… 3

Ⅲ　項目別取組状況 …… 4
1　教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 …… 4
（1）大学及び短期大学等の教育に関する目標を達成するための措置
（2）附属学校等に関する目標を達成するための措置
（3）研究に関する目標を達成するための措置
（4）社会連携及び社会貢献に関する目標を達成するための措置
2　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置…… 7
（1）組織運営の改善に関する目標を達成するための措置
（2）財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
（3）施設設備整備、安全管理及び法令順守等に関する目標を達成するための措置
（4）自己点検・自己評価及び情報公開等に関する目標を達成するための措置

Ⅳ　令和６年度コンクール等の受賞者 …… １１

Ⅴ　令和６年度主な演奏会等実施一覧 …… １５

Ⅵ　フォトギャラリー …… １６

Ⅶ　財務の概要 …… ２１
1　決算の概要 …… ２１
（1）令和６年度の状況
（2）平成２９年度以降の状況
（3）資金収支計算書関係
（4）事業活動収支計算書関係
（5）貸借対照表関係
2　有価証券、借入金等の状況 …… ２４
3　財産目録 …… ２５
4　主な財務関連用語の説明 …… ２５

# 令和６年度　事業報告書

［学校法人　三室戸学園］

## Ⅰ　法人の概要

### １　基本情報

（１）法人の名称：学校法人三室戸学園

（２）主たる事務所の住所：東京都文京区大塚４－46－９

### ２　建学の精神

音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする。

### ３　学校法人の沿革

学校法人三室戸学園は、学祖三室戸敬光が昭和９(1934)年 11 月、東京高等音楽学院学院長在職中に私財を投じて、「東京高等音楽学院大塚分教場」を開設し、昭和 13(1938)年２月に三室戸為光がこれを継承し、東京都文京区に分離独立の上、「東邦音楽学校」と改称し、昼夜二部制の音楽理論と実技の授業を行う全国最初の学校としてスタートした時に始まる。昭和 22(1947)年に東邦中学校(男女共学)を開学、翌年には東邦高等学校を開学し、普通科に加え、全国初となる音楽科を開設した。

昭和 26(1951)年に東邦音楽短期大学(音楽科)を開学、昭和 38(1963)年に埼玉県川越市今泉に川越キャンパスを整備し、東邦第二高等学校(普通科・女子)を開学した。なお、同高等学校は、昭和 44(1969)年に普通科を音楽科に改め、平成 15(2003)年に男女共学制に移行している。

昭和 40(1965)年に川越キャンパスに東邦音楽大学(音楽学部音楽学科)を開学し、平成 13(2001)年には東邦中学校、東邦高等学校、東邦第二高等学校を大学の附属学校とした。さらに、平成 16(2004)年に東邦音楽大学大学院(音楽研究科修士課程)を開設した。

令和 5(2023)年度には、東邦音楽短期大学の入学者の現状に鑑み、総合的な判断から入学定員の変更（50 名→20 名）を行った。

### ４　設置する学校、学部、学科

○東邦音楽大学大学院　　〔音楽研究科〕

○東邦音楽大学　　〔音楽学部音楽学科〕

○東邦音楽短期大学　　〔音楽科〕

○東邦音楽大学附属東邦高等学校(全日制の課程)　〔音楽科〕

○東邦音楽大学附属東邦第二高等学校(全日制の課程)　〔音楽科〕

○東邦音楽大学附属東邦中学校

○東邦音楽学校

5　学生・生徒数（令和 6 年 5 月 1 日現在）

| 学校名 | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 現員数 |
|---|---|---|---|---|
| 東邦音楽大学大学院 | 15 人 | 17 人 | 30 人 | 38 人 |
| 東邦音楽大学 | 100 人 | 47 人 | 420 人 | 258 人 |
| 東邦音楽短期大学 | 20 人 | 17 人 | 40 人 | 35 人 |
| 附属東邦高等学校 | 60 人 | 20 人 | 180 人 | 47 人 |
| 附属東邦第二高等学校 | 40 人 | 27 人 | 120 人 | 75 人 |
| 附属東邦中学校 | 40 人 | 11 人 | 120 人 | 38 人 |
| 東邦音楽学校 | ―人 | ―人 | ―人 | ―人 |

6　収容定員充足率（令和 6 年 5 月 1 日現在）

| 学校名 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 東邦音楽大学 | 57.6% | 63.6% | 67.6% | 67.1% | 61.4% |
| 東邦音楽短期大学 | 58.0% | 35.0% | 27.0% | 45.7% | 87.5% |

7　役員の概要（令和 6 年 5 月 1 日現在）

（1）定員数

理事：5 人以上 7 人以内、監事：2 人

（2）役員の氏名

理事長：三室戸東光

理　事：粕谷宏美、太田惠雄、石橋達成、佐浦國雄

監　事：上田　孝、和田正夫

8　評議員の概要（令和 6 年 5 月 1 日現在）

定員数：11 人以上 23 人以内、　現員数：13 人

9　教職員の概要（令和 6 年 5 月 1 日現在）　※（　）うち特任教員数

| 学校名 | 教授 | 准教授 | 専任講師 | 講師 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 東邦音楽大学大学院 | 7（7） | 2（2） | 0 | 6 | 15 |
| 東邦音楽大学 | 15（12） | 14（7） | 5（2） | 86 | 120 |
| 東邦音楽短期大学 | 3 | 1 | 3（2） | 4 | 11 |
| 計 | 25 | 17 | 8 | 96 | 146 |

| 学校名 | 校長 | 教頭 | 教諭 | 講師 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 東邦中学校 | 1 | 1 | 5 | 6 | 11 |
| 東邦高等学校 | | | 5 | 9 | 14 |
| 東邦音楽学校 | | 0 | 0 | 12 | 12 |
| 東邦第二高等学校 | 1 | 1 | 7 | 11 | 18 |
| 計 | 2 | 2 | 17 | 38 | 55 |

※校長、教頭は高校の教員にカウント

| キャンパス | 事務職員 |
|---|---|
| 文京キャンパス | 27 |
| 川越キャンパス | 18 |

## Ⅱ　事業の概要

令和 6 年度は、第四期中期計画（令和 3（2021）～令和 7（2025）年）が掲げる 5 年計画の 4 年目であった。

令和 4（2022）年 12 月に文部科学省学校法人運営調査委員による訪問調査を受審し指導・助言を受けたことを契機に、改めて本学園の経営状況を調査・分析し、このままでは学園の将来が見通せないという危機感をもって、令和 5 年度に新たな経営改善計画の策定に取り組み、令和 6 年 6 月に策定することができた。同年 7 月 1 日にこの計画を文部科学省に報告したところ、同省から同年 8 月 28 日付けで、本法人の対応状況について「一定の改善を確認」したので、「経営改善計画を着実に実施し経営基盤の安定確保に努める」ことという趣旨の通知を受けとった。

その後、計画の骨子となる事項は重点事項に位置付け、令和 6 年度後半は早速実施に取り組んだ。計画の内容は多岐にわたるので、まだまだ継続中であるが、取組状況について以下に述べるとともに、重点事項以外の教育研究及び業務運営についても概要をまとめた。

【重点事項】

新たな経営改善計画において、次の 2 つを重点事項（計 5 項目）と位置付け計画を策定し、実施に向けて取り組みを進めた。

1　経営基盤の安定化

（1）収支バランスの改善

- 過去 10 年間の財務状況を分析し、課題を抽出した。
- 学園の保有資産を精査し、経営資金（投資資金）確保のための方策を検討した結果、文京キャンパス敷地を売却し資金を確保することとした。
- 令和 6 年 11 月から令和 7 年 1 月にかけて敷地売却の手続きを進め、最終的に文京区に売却することを決定した。
- 中期財務計画を策定し、収支バランス均衡化の道筋を明らかにした。

（2）文京キャンパスの耐震化問題

- 旧耐震基準のままの 2 号館を含め、文京キャンパス敷地の売却により文京キャンパスの建物はすべて令和 8 年度末をもって使用を終了する。その後文京区に引き渡し、取り壊しとなる見通し。

（3）２キャンパス体制の最適化

- 令和 8 年度末をもって文京キャンパスを閉鎖することとし、川越キャンパスへの移転・統合を決定した。文京キャンパスの大学院、短期大学及び大学パフォーマンス芸術総合文化専攻（PACS）は、川越キャンパスに移転することとした。
- 文京キャンパスの閉鎖に伴い、附属東邦中学校及び東邦高等学校については存続ができないため、令和 7 年度から生徒募集を停止することとし、関係各方面に説明・報告等を行い、父母・保証人はじめ関係者の理解を求めた。

2　収容定員の充足

（1）入学者（学生・生徒）確保のための制度改革

- 基本的な制度設計（入試方法、授業料、特待生制度など）について見直しを進め

た。教職実践専攻及び音楽療法専攻については、カリキュラム改革と合わせて授業料の改定（減額）を行った。また、パフォーマンス芸術総合文化専攻（PACS）の新たなコース設定について構想をまとめた。

（２）教育改革（教育内容・方法の改善）の推進

・　各専攻の教育内容・方法を見直し、技術の刷新や社会の変化に対応した教育改革を進めている。

・　教育の実施体制について現状と課題を整理して改善策を策定し、実施可能なことから実行に移すこととしている。

## Ⅲ　項目別取組状況

令和 6 年度に実施した取組の主な内容は、以下に示すとおりである。

１　教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組

（１）大学及び短期大学等の教育に関する目標を達成するための取組

①　学生募集活動

・　学生獲得増に向けたアクションプランに基づき、行動計画（イベント年間スケジュール）を策定し募集活動を行った。

・　大学、短期大学オープンキャンパスを各 4 回実施し、本学の紹介、レッスンの体験の場を設けた。(6 月、7 月、8 月、3 月)

・　パフォーマンス総合芸術文化専攻（P.A.C.S）プロモーションを 5 回実施し、教育の内容及び専攻の魅力についてのプレゼンテーション、進学相談を実施した。(6 月、7 月、9 月、12 月、3 月)

・　音楽療法入門を 6 回実施し、音楽療法専攻の内容及びその魅力について説明し、進学相談を実施した。(5 月、6 月、9 月、11 月、12 月、2 月)

・　総合型選抜の対策として基礎力診断を 5 回実施した。(6 月、7 月、8 月、9 月、10 月)

・　受験生支援としてスキルアップ講習会を 6 回実施し、楽典、聴音、実技レッスン、小論文の指導を行った。(6 月、7 月、8 月、9 月、10 月、12 月)

・　学生募集を目的とした高等学校訪問により、吹奏楽指導 54 校、ガイダンス・模擬授業 41 校、学校挨拶（学校紹介等のみ）11 校を、それぞれ実施した。

②　教育内容・教育成果等の充実

・　大学教育の質向上に向けて、令和 5 年度に導入した教員のティーチングポートフォリオ、学生自身の学びを振り返るため、レーダーチャートによる学修成果可視化への取り組みを継続実施している。

・　インターンシップ成果発表を「東邦スタンダード」授業で実施し、学修成果の共有を図った。令和 6 年度の成果発表日、参加者は以下のとおり。

☆ 令和 6 年 11 月 6 日　大学 於：川越キャンパス LH401 教室
インターンシップ参加者数：7 名

☆ 令和 6 年 10 月 30 日　短大 於：文京キャンパス 628 教室
インターンシップ参加者数：6 名

③ 教育の実施体制等の充実・強化

・ 教職員の資質・能力向上のための FD/SD 研修会を 9 月 4 日に実施した。

【講　師】髙橋　達也氏

((株) ヨックモックカスタマーサービスマネジメント室部長)

【テーマ】「令和社会で求められる人材」

・ 令和 6 年度ベストティーチャー賞として河野玲子特任准教授を選出した。

④ 学生への支援の充実

・ 入学者全員に対して楽典の課題を与えて、提出を義務付けるなど、学び方の基本を身に付けさせることとし入学前教育の充実をはかった。

・ 令和 6 年度奨学金は「東邦令和特別奨学金」として、大学生 3 名、大学院生 2 名短大生 1 名に各 24 万円を給付し、「東邦音楽大学奨学金」として 5 名に各 40 万円を給付した。

・ キャリア支援等教職員の支援により、令和 7 年 3 月卒業の大学生 74 名のうち就職希望者 38 名中 36 名が就職した（就職率 95%)。また、短期大学においても卒業生 12 名のうち就職希望者 4 名全員が就職した（就職率 100%)。

⑤ 国際化の推進

・ 令和 6 年度「東邦ウィーンアカデミー」については、8 月 31 日よりスタートした。年度末までに計 8 回、延べ 106 名の学生が参加し、無事終了することができた。

（2） 附属学校等に関する目標を達成するための取組

① 生徒及び受講生の確保

・ 学生獲得増に向けたアクションプランに基づいて、「令和 6 年度生徒獲得増に向けた行動計画」を策定し、募集活動を行った。

・ 卒業生情報センターによる音楽教室等を主宰する卒業生訪問を行い、入学者の確保に努めた。その結果、令和 7 年度入学者として附属東邦第二高等学校 7 名を確保した。

② 附属学校における教育の充実

・ 東邦中学校と東邦高等学校の合同編成や第二高等学校全学年の合同編成によりウインドオーケストラを実施するなど、実践的な授業を行った。

・ 少人数制による One to One のきめ細かい教育の実践に努めた。また、大学、短期大学の教授陣による個人レッスンを実施した。

・ 附属東邦中学校・東邦高等学校の令和 7 年度新入生募集を停止したため、急遽他校への進学が必要となった生徒に対して、高校受験のための補習授業やソルフェージュの強化、夏季休業中の学科の補講などを実施した。

③ 高大接続と相互連携の強化

・ 本学の 2 つの附属高等学校の生徒を対象に「体験授業」を実施した。

・ 附属高校と大学及び短期大学が相互の連携強化ができるよう、責任者会議を各校と 2 回開催した。

・ 大学及び短期大学の教員が附属高等学校生徒を対象にしたスペシャルオープンキャンパスにおいて、本学の教育体制等について説明を行った。

（３）　研究に関する目標を達成するための取組

① 研究の推進と研究水準の高度化

・　在外研究員制度の一環として、外部資金による在外研究取扱規程案を作成した。

・　令和 4 年度の科学研究費「若手研究」（准教授）で、「ドイツ語のリズム規定における『弱化』の知覚と生成」が採択され、最終年度となる令和 7 年度も継続して調査・研究を行っている。なお、採択者は学会発表及び論文執筆を継続的に行うとともに、上智大学の共同研究員として本研究の高度化に取り組んでいる。

・　令和 6 年度には、新たに 1 名の教員が科学研究費に応募した。

・　大学院学生及び学部生に対する研究指導を充実させるとともに、研究倫理教育を実施した。

・　本学音楽療法専攻 4 年生 1 名が、第 1 回日本音楽療法学会学術大会優秀発表賞を受賞した。

② 研究推進体制等の充実

・　研究推進・倫理委員会において、教員及び学生の研究推進にかかる具体的方策を検討し、関係部門と連携を図り、研究活動の推進に努めた。

③ 研究成果の積極的な公表

・　教員の研究成果をまとめ、公表するため、研究紀要第 32 号を発行した。

・ 学園ウェブサイトの「教育研究者一覧」について、掲載内容の充実に努めた。

（４）　社会連携及び社会貢献に関する目標を達成するための取組

① 社会連携事業の推進

・　川越市との協定に基づき、9 月 14 日に市主催「2 音大クラシック・コンサート」において、尚美学園大学と東邦音楽大学との競演を行い、また、11 月 17 日に大学間連携講座「ホルストが創ったウィンドミュージック～イギリスそしてアメリカへ」を開催した。

・　2004（平成 16）年から実施している文京アカデミー大学連携講座は、令和 6 年度は、ギター、合唱、ピアノの 3 講座について実施することができた。

・　6 月 11 日に南古谷小学校音楽鑑賞教室（ウインドオーケストラ）を開催した。

・　ふじみ野市との協定に基づき、6 月 12 日にふじみ野市小学校音楽鑑賞教室（ウインドオーケストラ）を開催した。

・　埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）連携協定に基づき、TJUP 公開講座「音楽を通したコミュニケーション～みんなで楽器演奏等の体験をしてみよう～」を 10 月 19 日に実施した。

・　TJUP オンディマンド公開講座「武蔵国の 19 校を通じて埼玉の大学を知る 2024 名物先生大集合！」に参加し、オンディマンド講座を提供した。

・　TJUP 教育支援文化講座として、演奏会「音楽を楽しもう 2024」を 12 月 1 日に城西大学坂戸キャンパスで実施した。

・　“楽しく、学ぶ、体験する”をテーマとして、「TJUP わくわくランド 2024」を 3 月 22 日東邦音楽大学にて開催し、TJUP に加盟している学校や自治体、企業が特色ある企画を地域住民に提供し、地域貢献を行った。

【参考】自治体等との協定締結一覧

| 協　定　締　結　先 | 締結年月 |
|---|---|
| 埼玉県川越市 | 平成 19 年 11 月 |
| 東京都文京区 | 平成 20 年 3 月 |
| 新国立劇場運営財団 | 平成 27 年 6 月 |
| 東京オリンピック･パラリンピック競技大会組織委員会 | 平成 27 年 12 月 |
| 埼玉県ふじみ野市 | 平成 28 年 5 月 |
| 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）発足 | 平成 30 年 9 月 |
| 埼玉県和光市・和光市文化振興公社 | 平成 31 年 4 月 |

② 社会貢献活動の推進

- 6 月 14 日に東京都青梅市小学校音楽鑑賞教室（ｵｰｹｽﾄﾗ）を実施した。
- 12 月 15 日に川越市南古谷地域会議主催「0 歳からのコンサート in 南古谷」を実施した。
- 2 月 23 日に埼玉県日高市ファミリーコンサートを実施した。
- 10 月に沖縄県恩納村立恩納小学校からの熱心な要請に基づき、短期大学の学生国内演奏旅行を実施した。現地の小学生達から歓迎されるとともに、楽しんでいただける演奏会を開催することができた。
- 附属中学校・高等学校は、ユネスコパートナーシップ世界遺産トーチランコンサート協会と共催で、東京都文京区「文京シビック小ホール」（4 月 27 日）並びに北区北とぴあ「つつじホール」（10 月 11 日）において、クラシックコンサートを開催した。また、渋谷区文化センター大和田さくらホール（11 月 25 日）で開催された世界遺産トーチランコンサートに 31 名が参加した。
- 5 月 22 日に文京シビック区民ひろばで「スクールコンサート」、6 月 27 日に都立大塚病院で「ボランティアコンサート」、11 月 6 日に文京シビック小ホールで「防火のつどい」での演奏を実施した。

2　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

（1）　組織運営の改善に関する目標を達成するための取組

① 組織運営機能の強化

- 私立学校法の改正に基づき、学校法人三室戸学園寄附行為の改正案を作成し、令和 7 年 3 月 13 日付けで文部科学大臣の変更認可を取得した。
- 寄附行為改正に基づき、理事会規程、評議員及び評議員会規程、役員等報酬支給基準規程の一部改正を行った。
- 大学(短期大学、附属学校等を含む)の円滑な運営を図ることを目的とする「責任者会議」を 9 月 2 日（対面）と 3 月 31 日（書面）に開催し、各部門の情報共有と連携強化促進に努めた。
- 9 月 4 日に FD/SD 合同研修会を開催し、髙橋達也氏（株式会社ヨックモックカスタマーサービスマネジメント室部長）を講師として招き、「令和社会で求められる人材とは」をテーマに講演が行われ、本学学生の卒業後の社会人として求め

られる人材育成の在り方について教職員の理解を深めた。

② 教育研究組織の充実・強化

・　ICT に関する知識の習得を目的として、外部団体が主催する ICT 研修会に事務職員を受講させ職員の資質向上を図った。

・　大学・短大の後援会組織の総会に理事長ほか 7 名の教職員が出席したほか、同窓会組織の邦友会が企画する事業に卒業生情報センター職員が出席し円滑な協力関係の維持強化を図った。

③　事務等の効率化・合理化の推進

・　業務と組織の効率化を図るため、事務職員の適正な人事配置や業務効率の向上を図るため他部署との兼務発令をするほか配置換えを積極的に行った。また、組織の活性化を図るため、新卒職員の採用や事務補佐員から嘱託職員の任用換えなど若手職員の登用に務めた。また、定年退職者を再雇用し優秀な職員を継続雇用することにより生産性を低下せずに経験を活かした業務が行えるほか、採用コストや教育コストの削減効果も高く、若手の人材育成の強化にも繋がるものとなった。

・　事務組織の円滑な業務の遂行を図るため、附属学校及び大学組織の管理職を中心として組織する責任者会議を 7 月と 3 月に開催し、業務報告のほか各部門に関する課題等の解決に向け協議し連携を図った。

・　附属学校教諭及び事務職員全員に対して、日常業務の実態を把握するとともに今後の組織体制の在り方及び人事計画の参考とするため個別ヒアリングを実施し、業務改善や労働環境の向上、適正な人事配置に務めた。

（2）　財務内容の改善に関する目標を達成するための取組

① 収入の確保

・　学園の過去 10 年間の財務状況を分析し、収入・支出の傾向と課題を洗い出し、今後の財務計画の参考にするための資料を作成した。

・　部門別の学生生徒等納付金データを参考に、学生募集活動の基礎資料として活用した。

② 経費の抑制

・　近年の決算分析等を基に、関係部署において、真に必要とする経費執行の精査を行い経費節減に努めた。

・　前年度実績を基に、経費執行の精査を行い、管理的経費の節減に努めた。

③ 資産の運用管理の改善

・　複数の金融機関による引き合いの実施など、資金運用計画を作成し、効率的かつ効果的に資金運用を行った。

・　学園の経営構造改革のための文京キャンパス敷地売却に際しては、民間の仲介業者の協力を得て、対象を限定した競争入札制度を採用して手続きを進めていたところ、文京区が強い関心を示してきたので、地域貢献の観点等から文京区に売却することとした。今後は、この売却資金を有効に活用し学園の継続的な発展を目指していく。

（３）　施設設備整備、安全管理及び法令順守等に関する目標を達成するための取組

① 施設設備の整備・活用等

・　経営改善計画に基づき、川越キャンパスに新校舎を建設するための設計等の準備に着手した。

・　修学環境整備として、川越キャンパスのパソコン教室全面リプレイスを行い、高速メモリとストレージの増強により高いスペックを備えたハードウェアとサーバーを整備し作業効率の円滑化を図った。また、最新の OS と音楽制作も可能なソフトウェア「シベリウス」を継続採用し音楽大学としての特色ある教育環境の向上に努めた。

・　学園創立 50 周年記念館のトイレについて一部改修工事を行い、衛生環境の確保に努めた。その他、グランツザールシーリング系統の空調設備について全面リニューアルを行い、高効率空調設備を整備し CO2 の削減や電気代の削減のほか、インバーター制御による消費エネルギーの効率化を図り、冷暖房による快適な施設環境を維持することが出来た。その他、経年劣化の設備について順次改修工事を実施していくこととする。

・　文京キャンパス 7 号館（地下 1 階・地上 6 階）の教室・レッスン室の全ての照明設備を節電効果の高い LED 照明への切り換えを完了した。令和 7 年度以降については川越キャンパスの LED 化計画を進めていくこととし、安全で明るく快適な教育環境の向上に努めていく。

② 安全管理の充実・強化

・　消防計画に基づき附属学校生及び大学生、教職員の合同による防災避難訓練を実施したほか、教職員組織で構成する防火防災対策委員会を開催、大規模災害が発生したことを想定した動画の視聴や昨今多発する自然災害への備え等、防災に対する重要性を理解するとともに危機意識を高めた。また、SDGs の取組の一つとして賞味期限前の非常食を学生に配布、非常食の体験とともに廃棄の減量削減に努めた。

・　教育環境の向上を図るため、川越キャンパスのスタジオ A・スタジオ B に設置のプロジェクターを高精細な解像度と高い輝度を備えた高品位のプロジェクターに更新し、視認性を高めることのほか、プロジェクターの活用により板書時間の削減や幅広い授業展開を行うことができるものとなった。

・　災害時における対策として、学生及び教職員の安心・安全を確保するため非常食、保存水、非常用アルミブラケットを新たに整備したほか、安否確認・緊急時連絡網として導入している「さくら連絡網通信アプリ」を平常時から活用し、緊急時でも速やかに連絡が取れるよう、災害時に対する意識の向上を図った。

・　附属東邦第二高等学校で起こった自死事案について、令和 6 年 7 月に特別調査委員会を設置してヒアリング調査等を行い、同年 10 月 30 日付けで調査報告書をまとめ、遺族側と埼玉県学事課に報告した。その後、第三者委員会を設置して調査報告書の検証作業を継続している。

③ 法令順守の徹底等

・　コンプライアンスに対する取り組みとして、研究不正防止に関する相談窓口、公益通報相談窓口、ハラスメントに対する対策、育児・介護休業制度の対応などコンプライアンスに関する情報を本学 Web サイトに掲載し広く周知した。

・　教員オリエンテーションにおいて、令和 5 年度に策定した「障がい者に関する基本方針」に基づき、多様な学生に対する教育支援に関する基本的な考えや配慮の在り方など、教員への共通理解と意識の向上を図った。

・　労働基準法の一部改正に伴い、2024 年 4 月 1 日からルール変更となった雇用する労働者に対する労働条件の明示について、明示事項が増えたことにより非常勤講師等の雇用契約書を一部見直し対応した。

（4）　自己点検・自己評価及び情報公開等に関する目標を達成するための取組

① 自己点検・自己評価の充実

・　令和 6 年 11 月、令和 5 年度事業を対象とした「東邦音楽大学・東邦音楽短期大学自己点検評価報告書」を作成・公表した。

② 情報公開及び情報発信の推進等

・　本学園に関する学校基本データ等の教育情報及び財務情報について、新たに公表項目を増やして学園 Web サイトに掲載し、広く周知した（6 月）。

# コンクール等の受賞歴

【令和６年度】大学、短期大学、大学院

| コンクール等の名称 | 部　門 | 賞の名称 | 受賞者氏名 | 学　校 | 専攻・学年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第33回日本クラシック音楽コンクール | 全国大会 | 入選 | 梅本　直明 | アドバンスコース | 管弦打1年 | R5年度大学院修了 |
| | 全国大会打楽器部門大学の部 | 第5位 | 霜田　花暖 | 大学 | 管弦打楽器専攻2年 | |
| | 全国大会打楽器部門大学の部 | 第5位 | 日輝　大和 | 大学 | 管弦打楽器専攻2年 | |
| 第95回よこはま新人演奏会オーディション | | 合格　出演 | 梅本　直明 | アドバンスコース | 管弦打1年 | R5年度大学院修了 |
| 第26回九州音楽コンクール | 管・打楽部門大学生クラス | 最優秀賞 | 梅本　直明 | アドバンスコース | 管弦打1年 | R5年度大学院修了 |
| 第46回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール | 全国大会木管楽器部門大学生の部 | 第2位 | 池田　一翔 | 大学院 | 管弦打領域1年 | |
| The Global Musical Arts Competition 2024 Concerto Competition | Strings Division Ⅲ | 3rd　PLACE | 小川　尚也 | 大学 | Konzertfach（演奏専攻）３年 | |
| 2024 EUROASIA Online Competition | Category Over 23 | 4th　Prize | 王　中航 | 大学院 | 管弦打領域2年 | |
| 第26回“万里の長城杯”国際音楽コンクール | ピアノ部門 | 第5位 | 岩澤　ことね | 大学 | Konzertfach（演奏専攻）３年 | |
| | 打楽器部門大学の部 | 第3位 | 日輝　大和 | 大学 | 管弦打楽器専攻2年 | |
| 第12回豊田声楽コンクール | 大学・一般A部門 | 奨励賞 | 林田　佐保子 | 総合芸術研究所 | 声楽専攻／声楽領域 | H30年度大学卒業／R2年度大学院修了 |
| 第3回ドビュッシー国際ピアノコンクール | G部門 | 第1位邦人作品賞グランプリ | 廣瀬　靖子 | 総合芸術研究所 | 声楽専攻／声楽領域 | H30年度大学卒業／R2年度大学院修了 |
| | G部門 | 第2位 | 伊藤　曜子 | 大学院 | ピアノ領域2年 | |
| 全日本管楽コンクール2024 | 全国大会一般プロ部門(Ｕ30) | 第1位 | 髙澤　沙季 | 東邦音楽大学研究員 | 管弦打楽器専攻／管弦打領域 | H30年度大学卒業／R2年度大学院修了 |
| 第6回日本奏楽コンクール | 弦楽器部門大学の部 | 第１位 | 小川　尚也 | 大学 | Konzertfach（演奏専攻）３年 | |
| 第89回ＴＩＡＡ全日本クラシック音楽コンサート | | 審査員賞 | 日輝　大和 | 大学 | 管弦打楽器専攻2年 | |

| コンクール等の名称 | 部　門 | 賞の名称 | 受賞者氏名 | 学　校 | 専攻・学年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第47回全日本ジュニア<br>クラシック音楽コンクール | 全国大会<br>声楽部門<br>大学生の部 | 第4位 | 蘇　華晔 | 大学 | 声楽専攻 | R6年度卒業 |
| 2024年度第7回 東京国際<br>マリンバコンクール | | 第1位 | 針谷　杏 | アドバンス<br>コース | 管弦打1年 | R5年度<br>大学卒業 |
| | | 第4位 | 秋元　祐樹 | 大学 | 管弦打楽器<br>専攻2年 | |
| | | 入選 | 金澤　里彩子 | 大学 | Konzertfach<br>（演奏専攻）<br>2年 | |
| 2024年度 第３回STROANメンバー | | 楽器貸与<br>アーティスト | 小川　尚也 | 大学 | Konzertfach<br>（演奏専攻）３年 | |
| 第34回 日本クラシック<br>音楽コンクール | 地区本選 | 優秀賞 | 佐久間　千夏 | 大学 | 管弦打楽器<br>専攻3年 | |
| | 地区本選 | 優秀賞 | 根木　早苗 | 大学院 | 声楽領域2年 | |
| 第26回<br>日本演奏家コンクール | 声楽部門<br>一般Aの部 | 入選 | 久保田　由美 | 大学院 | 声楽領域 | R5年度修了 |
| | 声楽部門<br>一般Aの部 | 入選 | 曽　柏超 | 大学院 | 声楽領域2年 | |
| | 声楽部門<br>大学生の部 | 特別賞 | 蘇　華晔 | 大学 | 声楽専攻 | R6年度卒業 |
| 第75回<br>福井県音楽コンクール | マリンバ部門<br>大学・一般の部 | 福井県<br>教育委員会賞 | 服部　華 | 大学 | 管弦打楽器<br>専攻3年 | |
| 第54回<br>フランス音楽コンクール | ピアノ部門 | １位<br>カンセイ・<br>ド・アシヤ<br>文化財団賞 | 清原　一龍 | 大学 | Konzertfach<br>（演奏専攻）4年 | |
| | ピアノ部門 | 入選 | 余　浩 | 大学院 | ピアノ<br>領域2年 | |
| | ピアノ部門 | 入選 | 石川　のえみ | 総合芸術<br>研究所 | ピアノ領域 | R3年度<br>大学院修了 |
| 第90回ＴＩＡＡ全日本<br>クラシック音楽コンサート | | 優秀賞 | 髙澤　沙季 | 東邦音楽大学<br>研究員 | 管弦打楽器<br>専攻<br>／管弦打領域 | H30年度<br>大学卒業<br>／R2年度<br>大学院修了 |
| 第7回 日本トロンボーン<br>コンペティション | カルテット<br>部門 | 第３位 | 越仲　凜久 | 大学 | 管弦打楽器<br>専攻3年 | Trombone<br>Quartet<br>なんこや |
| | | | 中島　聖羅 | 大学 | 管弦打楽器<br>専攻<br>R5年度卒業 | |
| | | | 照屋　和希 | アドバンス<br>コース | 管弦打<br>R5年度卒業 | |
| | | | 本多　謙司 | 大学 | 管弦打楽器<br>専攻4年 | |
| 第16回日本トロンボーン<br>学生音楽コンクール | 大学生の部<br>独奏部門 | 第３位 | 越仲　凜久 | 大学 | 管弦打楽器<br>専攻3年 | |

| コンクール等の名称 | 部　門 | 賞の名称 | 受賞者氏名 | 学　校 | 専攻・学年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| IX.DANUBIA TALENTS INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION | PIANO Section /D Category | Ⅲ.Prize | 鶴岡　智優 | アドバンスコース | ピアノ1年 | R5年度大学院修了 |
| 第34回日本クラシック音楽コンクール | 全国大会 | 入選 | 根木　早苗 | 大学院 | 声楽領域2年 | |
| | 全国大会 | 入選 | 鈴木　勇 | 大学 | 声楽専攻4年 | |
| | 全国大会オーボエ部門大学の部 | 第3位 | 水間　遊来名 | 大学 | 管弦打楽器専攻3年 | |
| 第8回印西国際音楽コンクール | ピアノ部門プロフェッショナル部門 | 奨励賞 | 清原　一龍 | 大学 | Konzertfach（演奏専攻）4年 | |

【令和６年度】附属東邦中学校・東邦高等学校、附属東邦第二高等学校

| コンクール等の名称 | 部　門 | 賞の名称 | 受賞者氏名 | 学　校 | 専攻・学年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全日本ピアノコンクール２０２４ | 中学生部門 | 奨励賞 | 中村　海人 | 東邦中学校 | ピアノ<br>中学１年 | |
| 第４７回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール | ピアノ部門中学２年生の部 | ５位 | 川上　侑輝 | 東邦中学校 | ピアノ<br>中学２年 | |
| 第３４回日本クラシック音楽コンクール全国大会 | ピアノ部門中学校男子の部 | ５位 | 川上　侑輝 | 東邦中学校 | ピアノ<br>中学２年 | |
| 第４７回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール | 声楽部門中学生の部 | 審査員賞 | 林　舞衣 | 東邦中学校 | 声楽<br>中学２年 | |
| 第４８回ピティナ・ピアノコンペティション | E級全国大会 | 入選 | 柏本　桃香 | 東邦中学校 | ピアノ<br>中学３年 | |
| 第３５回川口市青少年ピアノコンクール | E部門 | 1位　グランプリ | 長山　彰汰 | 東邦高等学校 | ピアノ<br>高校１年 | |
| 第１８回草加市演奏家協会クラシック音楽ジュニアコンクール | E部門 | 草加市演奏家協会奨励賞 | 河野　尊 | 東邦高等学校 | サキソフォン<br>高校３年 | |
| 第１３回ヤングクラリネッティストコンクール | ジュニアB部門 | 入選 | 立山　翔 | 東邦高等学校 | クラリネット<br>高校３年 | |
| 第１２回中高生のためのSoloコンクール | 小太鼓 | 銀賞 | 新沼　一杜 | 東邦高等学校 | 打楽器<br>高校３年 | |
| 第３４回日本クラシック音楽コンクール全国大会 | 打楽器部門 | 入選 | 新沼　一杜 | 東邦高等学校 | 打楽器<br>高校３年 | |
| 第４６回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール | 金管楽器部門 | ４位 | 渡辺　巧 | 東邦高等学校 | テューバ<br>高校３年 | |
| 第３回　高校生のための「ミュージカル」歌唱コンクール | 歌唱コンクール | 奨励賞 | 三枝　愛芽 | 東邦第二高等学校 | 声楽<br>高校３年 | |
| ２０２４　第３４回　日本クラシック音楽コンクール全国大会 | 管弦打楽器部門（tuba） | 第４位<br>（１位～３位該当なし） | 藤﨑　太一 | 東邦第二高等学校 | 管弦打楽（tuba）<br>高校３年 | |
| 第３回　世田谷音楽コンクール | | 奨励賞 | 保永　夏実 | 東邦第二高等学校 | 声楽<br>高校３年 | |
| 第７回　TOKYO 全国ミュージカルコンクール第１１回　座間　全国ミュージカルコンクール同時開催 | シニア部門 | 第６位<br>審査員特別賞 | 松本　美穏 | 東邦第二高等学校 | 声楽<br>高校３年 | |
| | シニア部門 | 第２位 | 森田　月渚 | 東邦第二高等学校 | 声楽<br>高校３年 | |
| ２０２４第２回プリマヴェーラ声楽コンコルソ | | 第４位 | 三枝　愛芽 | 東邦第二高等学校 | 声楽<br>高校３年 | |
| ２０２４　第２回　東京国際管弦声楽コンクール | 高校生の部 | 第５位 | 森田　月渚 | 東邦第二高等学校 | 声楽<br>高校３年 | |
| 第２５回高校生のための歌唱コンクール | シニア部門 | 奨励賞 | 森田　月渚 | 東邦第二高等学校 | 声楽<br>高校３年 | |
| ２０２４第２６回日本演奏家コンクール | 声楽部門<br>高校生の部 | 第２位 | 山川　信也 | 東邦第二高等学校 | 声楽<br>高校３年 | |

令和6年度 主な演奏会等実施一覧

| 2024年 | 演奏会・イベント名 | 内容 | 会場 |
|---|---|---|---|
| 5月22日 水 | シビックコンサート | 附属中高生 | 文京シビックセンター B2F区民ひろば |
| 6月11日 火 | 南古谷小学校音楽鑑賞教室 | ウインドオーケストラ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 6月12日 水 | ふじみ野市音楽鑑賞教室 | ウインドオーケストラ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 6月14日 金 | 青梅市小学校音楽鑑賞教室 | オーケストラ | 福生市民会館 さくらホール |
| 6月27日 木 | 大塚病院 院内ミニコンサート | 附属中高生 | 都立大塚病院 地下1階ホール |
| 7月13日 土 | 第229回定期研究発表演奏会〔ソロの部〕 | ソロ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 7月24日 水 | シビックコンサート | 声楽 | 文京シビックセンター B2F区民ひろば |
| 8月5日 月 | 七夕コンサート | フルートアンサンブル | ふじみ野交流センター |
| 8月25日 日 | TOHOサマーコンサート2024 | オーケストラ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 8月29日 木 | 大塚病院 院内ミニコンサート | クラリネットアンサンブル | 都立大塚病院 地下1階ホール |
| 9月14日 土 | 2音大クラシックコンサート | ウインドオーケストラ | ウェスタ川越 大ホール |
| 9月15日 日 | 文の京 カレッジコンサート | 大学院室内楽 | 文京シビックホール 小ホール |
| 10月5日 土 | 東邦ミュージック・フェスティバル2024 | | 東邦音楽大学 川越キャンパス |
| 10月6日 日 | 東邦ミュージック・フェスティバル2024 | | 東邦音楽大学 川越キャンパス |
| 10月20日 日 | 東松山アートフェスタ | 金管5重奏 | 高坂彫刻プロムナード |
| | キッチンコンサート | サックスカルテット | 大東ガス プチフラム富士見 |
| 11月7日 木 | 小さな子どものためのコンサート | 打楽器アンサンブル | キラリ富士見 メインホール |
| 11月9日 土 | 一歩いっぽ祭り　演奏依頼 | ピアノ・ヴァイオリン・チェロ | 大塚福祉作業所 |
| 11月16日 土 | 第230回定期研究発表演奏会〔合唱の部〕 | 合唱 | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 11月24日 日 | 第231回定期研究発表演奏会〔オーケストラの部〕 | オーケストラ | 文京シビックホール 大ホール |
| 12月1日 日 | 第15回音楽大学オーケストラ・フェスティバル | オーケストラ | すみだトリフォニーホール |
| 12月14日 土 | 第232回定期研究発表演奏会〔ウインドオーケストラの部〕 | ウインドオーケストラ | ウェスタ川越 大ホール |
| 12月15日 日 | 0歳からのコンサート in 南古谷 | 声楽・ピアノ・チェロ | 川越市東部地域ふれあいセンター |
| 12月18日 水 | シビックコンサート | ハンドベル | 文京シビックセンター B2F区民ひろば |
| 12月21日 土 | ウニクス南古谷サウンドマーケット | ハンドベル | ウニクス南古谷（野外） |
| | 東邦音楽大学大学院 1年生演奏会 | ソロ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 12月22日 日 | 東邦音楽大学大学院 1年生演奏会 | ソロ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 2025年 | 演奏会・イベント名 | 内容 | 会場 |
| 1月11日 土 | TOHOコンサート2025<br>陸上自衛隊東部方面音楽隊＆東邦音楽大学ウインドオーケストラ | ウインドオーケストラ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 1月13日 月 | ニューイヤーコンサートin南古谷 | | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 1月19日 日 | 中学生・高校生のための第21回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト<br>受賞記念演奏会　～文部科学大臣賞選考会～ | ソロ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 2月8日 土 | 東邦音楽大学大学院<br>修士課程学位審査修了演奏会 | ソロ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 2月9日 日 | 東邦音楽大学大学院<br>修士課程学位審査修了演奏会 | ソロ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 2月11日 火 | 東邦音楽大学大学院<br>修士課程学位審査修了演奏会 | ソロ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 2月13日 木 | 大塚病院 院内ミニコンサート | 声楽 | 都立大塚病院 地下1階ホール |
| 2月23日 日 | 日高市ファミリーコンサート | ウインドオーケストラ | 日高市文化体育館ひだかアリーナ |
| 2月26日 水 | シビックコンサート | トロンボーンアンサンブル | 文京シビックセンター B2F区民ひろば |
| 3月8日 土 | 東邦音楽大学・東邦音楽短期大学　卒業代表演奏会 | ソロ | 東邦音楽大学 グランツザール |
| 3月13日 木 | 大塚病院 院内ミニコンサート | ピアノ | 都立大塚病院 地下1階ホール |
| 3月29日 土 | 第14回 音楽大学フェスティバルオーケストラ2025 | オーケストラ | ミューザ川崎シンフォニーホール |

フォトギャラリー

| | | |
|---|---|---|
| 6月8日 | 土 | 第12回　北関東甲信越音楽系高等学校演奏会 |

| | | |
|---|---|---|
| 7月13日 | 土 | 第229回　定期研究発表演奏会[ソロの部] |

| | | |
|---|---|---|
| 9月14日 | 土 | 2音大クラシックコンサート[ウェスタ川越 大ホール] |

| | | |
|---|---|---|
| 10月5日 | 土 | 東邦ミュージック・フェスティバル2024 |
| 10月6日 | 日 | |

| | | |
|---|---|---|
| 10月11日 | 金 | 東邦音楽大学附属東邦中学校・東邦高等学校クラシックコンサート<br>[北とぴあ つつじホール] |

| | | |
|---|---|---|
| 10月9日 | 水 | 東邦音楽短期大学　卒業記念修学演奏旅行[沖縄県恩納村立恩納小学校] |

| | | |
|---|---|---|
| 11月16日 | 土 | 第230回　定期研究発表演奏会[合唱の部] |

| | | |
|---|---|---|
| 11月24日 | 日 | 第231回　定期研究発表演奏会[オーケストラの部]<br>[文京シビックホール 大ホール] |

| | | |
|---|---|---|
| 12月1日 | 日 | 第15回　音楽大学オーケストラ・フェスティバル<br>[すみだトリフォニーホール] |

| | | |
|---|---|---|
| 12月14日 | 土 | 第232回　定期研究発表演奏会[ウインドオーケストラの部]<br>[ウェスタ川越 大ホール] |

| | | |
|---|---|---|
| 12月21日 | 土 | 東邦音楽大学大学院　1年生演奏会 |
| 12月22日 | 日 | |

| | | |
|---|---|---|
| 1月11日 | 土 | TOHOコンサート2025<br>(陸上自衛隊東部方面音楽隊＆東邦音楽大学ウインドオーケストラ) |

| | | |
|---|---|---|
| 2月8日 | 土 | 東邦音楽大学大学院　修士課程学位審査修了演奏会 |
| 2月9日 | 日 | |
| 2月11日 | 火祝 | |

| | | |
|---|---|---|
| 2月22日 | 土 | パフォーマンス総合芸術文化専攻卒業制作発表 |

| | | |
|---|---|---|
| 3月8日 | 土 | 東邦音楽大学・東邦音楽短期大学　卒業代表演奏会 |